

東京新聞編集局 読者部

小野沢健太様

この度は私共の地域の会合にお出で下さり、また早速紙上に取り上げて下さいまして有難うございました。

老人の纏りの悪い話でありますから、若いお母さん方に、戦争の意味、平和の意味を、どれ程伝えられたか不安でございました。

斯うして取り上げて頂き、少しはホット致しました。

わが命のある限りは、これからも「戦争は二度としてはならない」と訴え続けてまいる所存です。憲法九条は護りぬかねばなりません。

夥しい屍の山から出発した私達、それを目の当たりにした私達世代が、残されて為すべき唯一の大切と思えます。

東京新聞切抜き帳をお見せできず残念でした。戦後七十一年分はもう五冊にもなっています。あとも次々と切抜いています。広い範囲に渡り、確実な方向性を持った優れた記事を、いつも感動して読んでいます。記事に懸ける皆様の熱い思いが伝わります。有難うございました。

東京新聞の御健闘を喜び、今後の御健闘を願ひ上げます。

草々

平成二十八年十月二十日

大石弘子